

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 62

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成30年11月23日<2018. 11. 23>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@ibaraki.email.ne.jp

来年は茨城大会！

★ボランティア大大々募集中★

2019年6月、第27回日本社会福祉士会全国大会が茨城で開催されます！！

会員の皆さまには既に「ボランティア募集」のチラシを郵送させて頂いておりますが、まだまだボランティアスタッフが不足しています。①準備ボランティア・②当日ボランティア共に大募集中です！！全国の皆さまに茨城大会に参加したい！参加して良かった！と言って頂けるよう力を合わせて大会を成功させましょう！あなたのご参加をお待ちしております♪一緒に大会を盛り上げていきませんか？

募集のチラシが手元にないという方も事務局までご連絡ください！



★入会促進キャンペーン実施中★

茨城大会に向けて入会促進キャンペーン中、ぜひこの機会をご活用ください！！

来年6月、日本社会福祉士会全国大会を茨城で開催することとなりました。大会運営には多くの会員の協力が必要ですが、社会福祉士の資格を有しながら未加入の方も多く、周知が進んでいないのが現状です。皆さまの職場の方やお知り合いに該当する方がおりましたら、お手数でもぜひ入会案内や全国大会の周知にご協力頂けますようお願いいたします。

なお、地域包括支援センターや社会福祉協議会等、既に県内各機関にご案内を郵送させて頂いておりますが、今年度～来年度にかけては年会費の一部を免除するキャンペーンを実施しております。まだ未入会の社会福祉士の方にはこの機会をぜひご利用頂けるようお声かけください。入会申込書は事務局にご用意しておりますので、お電話やメール、ホームページの専用フォームよりお気軽にご請求ください。キャンペーンの特典は3月の定時総会の際にお渡しする予定です！



★お知らせ★

来年開催の全国大会に向けて、茨城県社会福祉士会のホームページを間もなくリニューアル予定です！より分かりやすく使いやすいページにしていきたいと思っておりますので皆さまお楽しみに！！

来年は茨城大会！…1

「ソーシャルワーカーデー2018inいばらき」に参加して…2

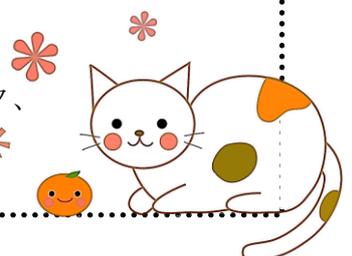
「2018年度 第1回社会福祉士共通基盤研修」に参加して…3

会員の声「社会福祉士として…」…4

ブロック活動報告…5～9

(県北ブロック、県央ブロック、県南ブロック、
県西ブロック、鹿行ブロック)

ご案内、編集後記…10



「ソーシャルワーカーデー2018inいばらき」に参加して



野村 幸代

7月29日に開催された「ソーシャルワーカーデー2018inいばらき」に参加してきました。ソーシャルワーカーデーとは、2009年からソーシャルワーカーの社会的認知を高めるために「海の日」を「ソーシャルワーカーデー」として創設されたものです。茨城県では、茨城県社会福祉士会、茨城県ソーシャルワーカー協会、茨城県精神保健福祉士会の3つの職能団体が主催となり、研修等の開催を行っています。

私は、今回初めてソーシャルワーカーデーに参加しました。茨城県社会福祉士会から開催のお知らせが届くようになってから、ずっと気になっていましたが、仕事などで参加することができませんでした。しかし、今年、ついに都合が付き参加に至りました。今年のテーマは、「AIにはできないこと～消費者教育とソーシャルワーク～」、講師は茨城県消費者教育講師である松本由美子氏でした。内容は、高齢者・障がい者の消費者被害を防ぐためには、傾向を知り、手口を知り、高齢者や障がい者のおかれている状況を理解し、周囲の見守り力を高める、というものでした。消費者被害の相談内容は、時代や社会を反映しているとのこと。例えば、昭和の時代はサラ金など金融関係が多く、現在はインターネットが普及したことでそれにかかる契約トラブルが多くなり、さらに70歳以上の方は年金をしっかりともらっている世代なので、今後もカードローンなどのトラブルが多くなるということでした。よく考えてみれば、時代や社会が変われば、私たちが取り巻く環境が変わるということですから、それにより私たちの生活も変わり、結果、生活課題も変わるわけですから当然のことです。私たちソーシャルワーカーは、「ソーシャル」と頭につく職種ですから、私たちの扱う相談も時代や社会とともにあります。手口がとても功名になっていると同時に、高齢者がおかれている状況、つまり高齢者が抱えている3つの不安を狙ってくるそうです。3つの不安とは「3K」と言われ、健康に関すること、お金のこと、孤独であるということです。以前、私が担当していた一人暮らしの女性の高齢者もまさに「孤独」を狙われた被害があったことを思い出します。高齢者や障がい者の見守りキーワードは、「気づき」→「声かけ」→「相談につなぐ」ということだそうです。

さてさて今回のテーマに沿って考えると、対人援助はAIに出来ない！と私自身は考えています。正確には「まだまだ出来ない部分が多い」といったところでしょうか。社会や時代とクライアントの背景をすり合わせ、より気持ちの変化を含め理解を深める、そこからニーズを抽出し、地域資源などは繋げたり、開発したり、提言したり…と、かなり複雑なことをマイクロからマクロまでやっているからです。ただ、枠の中だけで支援をしているソーシャルワーカーでは、AIの方が上手に支援ができる時代も来ると思います。それには、ソーシャルワーカー自身も研鑽をしないと…と思いました。

個人的には、昨年、精神保健福祉士の受験資格取得の際にお世話になった、実習先のソーシャルワーカーの方にお会いでき改めてお礼を伝えることができ良かったなあと思ったことと、様々な分野で活躍するソーシャルワーカーが一同に会するのは大変有意義だなあ、と感じました。ありがとうございました。



「2018年度 第1回社会福祉士共通基盤研修」に参加して



県西ブロック 岩見 亮

まず今回の共通基盤研修にあたり、講演をして下さいました竹端 寛先生、シンポジストの栗本先生、長谷川先生、千葉先生、又、研修の運営をして下さいました県西ブロックの方々、各関係者の方々に感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

今回の共通基盤研修に参加して、社会福祉専門職のアイデンティティとソーシャルワーカー機能の真価を求めてをテーマに、考えを深める、又は学ぶことができました。

今回のテーマが、社会福祉専門職のアイデンティティということで自分が自分であることの充実感（あるいは根拠）は何なのか、この研修で学ぶにつれて今まで自分の中でなかった考え方・視点などが広がったように思えました。では具体的に何を学んだのか3つ程大きく分けて述べていきたいと思います。

まず1つ目は、Lead the self/Story of self からはじまり、Lead the people/Story of us・Lead the society/Story of now（「私」からはじまり、私たち・社会へ）ということで、相談援助をするにあたり相手の本当の心の声を知るためにはまず、自分を知ることから始まることを学びました。そして、自分の強みや弱みを知ること。アセスメントシートを埋めることにこだわらず、相手の方が何を求めて、何を理解してほしいのかは自分を知り、自分をさらけ出すことによって、相手の方が信頼して頂けたり、安心感を持って頂けると学びました。相手の方を「説得」するのではなく、「納得」の「物語」形成をすることが大切とのことで、今まで自分がしてきた相談援助のやり方を見直すことができました。

2つ目は、社会福祉士の存在意義や価値は何なのか、これまでの講義・演習を行う中で社会福祉士としての強み、弱み、機会、脅威を考え、知ることで社会福祉士の役割を明確に知ることができました。社会福祉士とは何なのか、アセスメントシートを埋めるだけでいいのか、相手の声は本当の声なのかを研修を通して参加されている他の社会福祉士の方々と考えを深め、学ぶことができました。

3つ目は、ポリフォニー（みんなの声）。他の社会福祉士の方と出会い、お話をさせていただく中で、それぞれ立場や職種が違く、さまざまな視点・視野を持っており、自分の中になかったものが、交流をしていくうちに自分の中に吸収されていく感覚を味わうことができました。又、その立場・職種の違いで同じ社会福祉士でも悩むポイントが全く違く、その声を聞かせていただくことに意味があったのかなと思いました。そこが今回の研修の大きな収穫ではないかと思いました。

2日目の午後、講演をして下さいました栗本先生、長谷川先生、千葉先生のお話を聞かせていただいて先生方の考え・今後の課題を学ぶことができました。特に自分で実践をすること、そして市町村や県・国に提言をしていくことが大切とのお話がすごく参考になりました。又、新人社会福祉士に対して社会福祉士の専門性をどう伝えるのかの質問では、本人の意思決定の重要性、権利擁護の部分伝えていくことが大切と話され、社会福祉士の役割の重要性みたいなものを感じることができました。

今回の研修では、気づきと学びがたくさんあり、自分にとってとても有意義な研修になりました。そして頭がグルグルになりました（笑）。これでゴールではなく、今回の気づきと学びを大切にしていき、再度新しいスタートを切りたいと思います。本当にありがとうございました。



今年4月、保険年金課に異動した私は、直接的な相談援助の仕事には携わっていません。国民健康保険の給付担当になり、事務処理に追われる毎日です。訪問はなく、窓口対応の他は、一日中事務机にかじりついています。異動前は、直営の地域包括支援センターに丸9年勤務しました。訪問へ会議へと常に動きのある職場だったため、異動直後は、持久走後、急に立ち止まってしまった感覚に似ていました。

職場が変わったことで、夢中で走っていた間は見えなかった景色が見えてきました。振り返ると、これまでの地域包括支援センターでの社会福祉士としての仕事は、実につながりの中での仕事だったんだと気づきました。地域包括支援センターでは、たくさんの方々との出会い、一緒にお仕事をさせていただきました。対象者を中心に、人と人をつなぐ中で、自分自身もその輪の中でつながっていて、チームとして仕事をしていたことを実感しました。荷が重く、つらいと思うこともありましたが、そんな時には、周囲の方々に支えられ、励まされながら、走り続けることができました。大変ではありましたが、とても充実した毎日でした。完走後の達成感があった一方、つながりの輪から突然抜けてしまったことや、「社会福祉士の鈴木です」と自己紹介することもなくなったことからか、喪失感もありました。クールダウンがうまくできず、不安定な状態になっていたかもしれません。

そんな時、支えになったのは、同じ社会福祉士の方々とのつながりでした。職場の社会福祉士の皆さんとの集まり、県西ブロックの研修会、地元下妻で開催された共通基盤研修。どれも参加する度に、皆さんからパワーをもらい、社会福祉士としての自分を取り戻したような気持ちになりました。特に共通基盤研修での竹端先生の「自分自身の深掘り」のワークは、立ち止まった自分自身について見つめ直し、今後を考える機会になりました。

私がソーシャルワーカーという仕事を知ったのは、大学1年の春休み、アメリカのサンフランシスコにある「気持会」というNPOにインターンに行った時でした。AIESECという学生団体の企画で、社会貢献活動について学び、「自己実現できる生き方」を考えるという趣旨のものでした。日本町というコミュニティで、移民した日系一世が言葉や習慣の壁により受けられなかったサービスを補うように高齢者支援を行ってきたNPOでした。会食や配食、サロン活動、送迎・受診支援、通所・入所サービスなど、高齢者を含めた多くのボランティアが、一世への感謝の気持ちからだけでなく、自分自身のためにと活動していました。そこにはソーシャルワーカーが要となった、地域に根ざしたソーシャルアクションの実践がありました。当時、経済学部在籍し、まだ社会経験も少なかった私は、職業について考える貴重な体験になりました。誰もが生き生きと暮らせる地域づくりに携わりたいと、市役所に入庁後、通信教育で社会福祉士の資格をとりました。

現在の職場では、医療について不安を抱えている方の声を聞くことがあり、利用できる制度のご紹介をすると安心されることが多いです。ここで社会福祉士としてできることは何か、まだはっきりとは見えていませんが、これからも社会福祉士の方々とのつながりながら、見つけていきたいと思えます。

携帯電話やスマートフォン等を利用した連絡網への登録をお願いします！

郵送費等の低減と会員の皆様への情報提供の迅速化を目的とした連絡網システム（マ・メール）へのご登録をお願いいたします。

- ①迷惑メール防止機能をご利用の方は「mamail.jp」からのメールを受信できるようにご設定ください。
- ②csw-ibaraki@mamail.jpに空メールを送信してください。
- ③折り返し送られてきた「入会お礼メール」の本文末に記載されているリンクをクリックし、プロフィール入力画面にしてください。
- ④表示された画面でプロフィールを入力し、[登録]をクリックして登録完了です。

※登録は、一人につき一つのメールアドレスに限定して頂けると幸いです。



県北ブロック便り 2018年 秋号

皆様、こんにちは。県北ブロック広報担当 石井です。

今回、久々に「定例会」なるものを、『ばんどう太郎 常陸太田店』にて、10月12日(金)に開催いたしました。(生憎、私自身は欠席してしまいました。((+_+)))

内容といたしましては、暫く空いてしまったこともありましたが、都合10名のメンバーが集まり、先日のブロック長会議の報告、役員改選、茨城大会に向けての話し合いを行いました。(facebookでの報告通りですが)互選にて新ブロック長として金澤宏さん、他の委員は次回11月に持ち越しとしました。茨城大会に向けては、新ブロック長のもと士気を高めていくこととなりました。



(@ばんどう太郎 常陸太田店)

今後とも、県北ブロックとして、出来る限り集まった上で、勉強会等を企画・開催していきたいと考えています。また、県社会福祉士会 県北在住で、まだ「定例会」に参加したことがない皆様、どしどし参加をお待ち致しております!(^^)!



県央ブロックだより



2018 実践報告会に参加して

株式会社 メイプルケアプランセンター 荒川 幸子

6月23日(土)茨城県総合福祉会館3階和室にて、ひたちなか市社会福祉協議会 鹿志村武史氏、社会福祉法人 梅の里ディサービス 小川舞氏から普段の実践活動について報告がありました。最初に鹿志村氏から社会福祉協議会の目的・役割・意義についてお話頂きました。地域が抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題と捉え、みんなで考え、話し合い、活動を計画し協力して解決を図る。その活動を通して福祉のコミュニティづくりと地域福祉の推進を目指す。これは現在、実現を目指す地域包括ケアシステムの構築と重なり合うものと思いました。鹿志村氏の報告を通じて、改めて地域のコミュニティと多職種協働の重要性を学びました。次に、小川氏から障害者支援施設の発足から実践について報告を頂きました。利用者の大半は最重度～重度の知的障害を伴う自閉症の方であり強度行動障害と言われる方が多い中で、支援をしていくには生活を構造化し、文字・絵・実物等を用いて、目で見て分かるように工夫している。見立てができないため、不安になることを理解し日課をルーティンするなど、利用者それぞれが本当に訴えたいことは何かを考え、日々精進していると報告を受けて頭が下がる思いでした。両氏の福祉に対する真摯な姿勢から、相手を思う大切さを改めて教えて頂きました。ありがとうございました。



共通基盤研修に参加して

県央地区 横須賀 優

平成30年10月13日ピアスパーク下妻において、「社会福祉専門職のアイデンティティとは」という題目で、兵庫県立大学環境人間学部の竹端 寛先生より講義がありました。

会場では初めて会ったグループの人達に対して自分自身のヒストリーや失敗談等、普段ではあまり話したくないこともすらすらと語ってしまいます。まず大切なのは、援助者である自分自身の深堀をしていくことが大切であり、それが援助関係を作り上げていくための軸になるのだと。

対人援助は、「他人を変える」のが仕事なのか？先生はさらに疑問を投げかけます。地域や対象者の「ために」ではなく、地域や対象者と「ともに」自分事として汗をかくことが必要なのだとは大阪弁で熱く熱く語りかけます。私たちに変わってほしいとの思いに溢れていました。

人生を振り返り、自分自身を知る非常に貴重な機会になりました。



県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ <http://ibanancsw.hp2.jp>

一段と日が暮れるのが早くなり、朝の冷え込みに冬の近づきを感じるようになってきましたが皆さまいかがお過ごしですか？年度後半も県南ブロックでは定例会議、忘年会、研修会を計画しています。まだお顔を出されていない方やしばらくご無沙汰の方のご参加をお待ちしています♪

定例会活動報告！

10月の定例会は、25名の出席があり、谷口照子会員によるばあとなあでの実践報告をしていただきました！ご本人の支援の中で趣味の茶道の話が生きるなど、話の引出しを多く持つことの大切さを感じました。また、本人の意思をどこまで尊重して支援するのか、「本人の財産を大きく減らす買い物をしたい」と本人から希望があった際の支援方法について定例会参加者から様々な案が出され、『意思決定支援』の難しさと大切さを共有しました。

定例会では他にも、日本社会福祉士会全国大会に向けて、係員や広告募集について話し合いがありました！



県南ブロック会員交流会を開催！

8月18日（土）に牛久シャトーにて毎年恒例の会員交流会を行いました！定例会にはなかなか参加できない方や他のブロックからの参加もあり、たいへん盛況な会になりました！



☆県南ブロック会員の皆様へ☆

来年6月1日～2日につくば国際会議場で全国大会が開催されます。開催地である、県南ブロックの会員の皆様には、ぜひとも係員や広告募集にお力添えください！

県南ブロック研修会のおしらせ

12月2日（日）に霞ヶ浦医療センターにて『自殺対策の現状と課題』をテーマに研修会を開催します。

関心のある方ならどなたでも参加できますので、皆様お誘いの上ご参加ください。

講師：福山なおみ氏

日時：12/2（日）13:30～15:30

会場：霞ヶ浦医療センター

（土浦市下高津 2-7-14）

参加費：会員は無料 非会員は500円

申込：県南ホームページに掲載の申込書を記入の上、FAX

詳細は、県南ホームページをご確認ください。

★次回のブロック定例会&忘年会★

★定例会

12月15日（土）18時～
土浦市役所 2階 研修室 2

★忘年会を同日 20時から

開催しますので、「マ・メール」記載のアドレスか県南ホームページからご連絡ください！



けんせいつうしん

もうすぐ師走…年々時間が過ぎるのが早くなりますね…(´Д`)ﾊｱｱ

さて、来年は全国大会 茨城大会の開催年です。多いに盛り上げていきましょう！！
今回のリレートークは、青嵐荘特別養護老人ホームの織原 大さんです。

リレートーク11

私は青嵐荘特別養護老人ホームにて生活相談員として勤務をしております。今の職場に入職して、5年経過し、今年で6年目を迎えることができました。まだまだ経験が浅く、未熟者ではございますが、ご利用者様やご家族様、職場の諸先輩方、地域の皆様、各事業所の皆様等々、多くの方からご指導やご助言、励ましの言葉を頂けたことにより、今の私があると考えております。

「これからは時代が大きく変わるし、家族関係や人間関係もどんどん変化していくと思う。だから、織原君、色々な経験をして、色々な価値観に触れなさい。そして、物事や人の心の背景を考えられる、推し量れるような人間になりなさい」と、私の実習指導者であり、今の職場に入職するきっかけとなった、私の尊敬する上司から頂いた言葉であります。その上司は私にとって怖くもありましたが(笑)、仕事や自分自身に厳しく、そして愛情の深い、本当に優しい方でした。その上司は今退職をされましたが、今でも深く感謝しております。

その上司からご指導を受けた上の言葉の通り、今後、地域包括ケアシステムの本格的な実施、AIの活用、外国人労働者の受入、家族関係が希薄になるケースの増加等々、様々な変化があり、多様な対応が求められてくると思います。そのため、今後、その変化に対応し、「人」「社会」のために、少しでも貢献できるよう、様々な分野の勉強をし、新しいことに挑戦していきたいと考えております。

※次回は、筑西市社会福祉協議会の大類勝也さんにバトンタッチします。

ご参加
お待ちしております！

第4回定例会予告

日程 平成31年 2月 2日(土) 午前10時から

テーマ (仮)『子どもたちが安らげる場をつくる』

～貧困・虐待・DVを受けた子どもと家族の包括的支援の実際～

NPO法人ビリーブは、2018年4月から、親に養育放棄された子、親のDV被害を目撃した子、貧困により要援護状態にある子たち(小学1年生から中学3年生まで)の支援のために、居場所を提供する場『シリウス』を運営し、放課後に食事、入浴、学習、生活などの支援を行っています。

「子どもたちは、遠くにある施設で保護されるのではなく、身近な場所で、頼ることのできる大人が寄り添ってあげることが大切」という想いで子どもたちと接し、生きづらさの世代間連鎖を断ち切るための一助として活動している団体です。

今回は、その法人の理事長の栗本さん(異色の経歴をお持ちの社会福祉士)から、活動の映像なども交えながら、真に迫るお話をいただく予定です

講師 特定非営利活動法人ビリーブ 理事長 栗本 孝雄 さん

場所 県西生涯学習センター(予定)

鹿行ブロック情報

鹿行ブロック定例会

「医療福祉から考えるL G B & T」研修を開催しました。

11月17日(土)、神栖市保健・福祉会館にて、鹿行ブロック定例会を開催し、鹿行管内より会員12名の参加がありました。

神栖市内の河野陽介さん(多様な性を考える会 にじいろかみす代表)よりL(レズビアン 同性が好きな女性) G(ゲイ 同性が好きな男性) B(バイセクシャル 両性愛) & T(トランスジェンダー 自分の性別に違和感がある人)について解説していただきました。

性的マイノリティといっても、L G Bとトランスジェンダーの人たちとでは支援や配慮が異なるそうです。トイレに入る際を例に上げると、L G Bの人は、困ることがありません。なぜなら、自身の体と心の性が一致しているからです。ただトランスジェンダーの人で、身体が男性で心が女性の人たちは、男性のトイレに入るのがはばかられ、誰もが使える多目的トイレは必要ということです。これが都市部などでL G B Tに配慮してL G B T専用トイレなどを設置が進められているようですが、そのトイレを使うことは、自分自身でL G B Tですと表明するようなものであり、非常に使いにくいということでした。

世の中にはそういう風に性的マイノリティという性質を持って生きている人が一定数いるということを知ってもらいたい。そしてL G B Tの人と相談援助の場面には、医療福祉の相談者と同様に、信頼関係を大事に対応してもらいたいということをお話しいただきました。

研修会終了後は情報交換会を兼ねて、河野さんを囲んで懇親会を開催しました。



定例会では千葉理事より全国大会の説明がありました



【研修会】L G BとTは解釈が違います

今年度は年明けの2月くらいを目安に研修会、交流会の開催を予定しています。開催が決まり次第、周知しますので、非会員の方も誘ってご参加下さい。



茨城大会の専用Facebookページをオープンしました！！



<https://www.facebook.com/jacsw2019ibaraki/>

2019年6月1日～2日開催の『第27回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 茨城大会』の専用ページをオープンしました！！

皆さま「いいね！」やフォローをお願いします！

全国の社会福祉士の皆さまにもどんどん広めてくださいね！！

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願ひします！

<https://www.facebook.com/csw.ibaraki/>



各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。

皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします！

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebookへの登録（無料）が必要となります。
Facebookに登録しなくても閲覧は可能です。



【編集後記】

今年も残り僅かとなってまいりました。これから寒さも本格的になりますし、既にインフルエンザ流行の兆しもあるようですので体調管理にも気を付けていきたいものですね。

さて、茨城大会の開催まで半年余となりました。チーム茨城として一丸となって全国の皆さまをお迎えし、満足して頂ける大会にできるよう盛り上げていきましょう！そのためにも多くの会員の皆さまの力が不可欠です。全国大会の運営に携われる貴重な機会でもありますので、皆さまお誘いあわせの上、ぜひボランティアへの登録をよろしくお願ひいたします。

We wish you a merry Christmas and a Happy New Year！本年は大変お世話になりありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆さまにとって迎える年も有意義で充実した一年になりますように♪

広報事業部